

MONTHLY VISUAL MESSAGE MAGAZINE ISSN 0385-258X

KOREA TODAY

2009

5

160年以上の歴史を誇る
武雄28代領主 鍋島茂義公作

御船山楽園 (4月14日、佐賀県武雄市)

昭和51年7月4日第3種郵便物許可 平成21年5月6日発行 毎月6日発行 第34巻 第5号 価格300円



ただしがま
古唐津焼「規窯」陶芸家
井上浩一氏(武雄古唐津焼協同組合理事長)

KOREA TODAY

MONTHLY VISUAL MESSAGE MAGAZINE

2009.5

C O N T E N T S



大阪韓国青年商工会 設立20周年記念式典
(4月25日、ホテル日航大阪)

- 大阪韓国青年商工会**
2 **設立20周年記念式典 & 第21期定期総会**
- 韓商連**
6 第47期定期総会・経済セミナー
金子勝・慶大教授が講演「日本経済再生への道」
- 日韓女性親善協会**
8 21年度定期総会
小野清子副会長が講演
「私と韓国一いままで・これから」
- 婦人会大阪本部**
9 第21回定例地方委員会
- 婦人会京都本部**
10 第21回定期地方委員会・第38期定期地方大会
新会長に河久子前副会長を選出
- 渡来人は海峡を越える【佐賀県武雄市】** <田中典子>
12 伝説ゆかりの地【武雄】 古唐津焼の源流
- 平和統一聯合近畿連合会、東北アジア平和研究所**
16 鄭時東・平和統一聯合中央本部会長が講演
「安重根義士の東洋平和論と世界平和への道」
- 温儒会**
18 第14回総会・記念講演会
加地伸行・大阪大学名誉教授が講演「儒教あれこれ」
- 京都韓国商工会議所**
19 春季経済講演会
高龍秀・甲南大学教授が講演
「世界金融危機が日本・韓国に与えている影響」
- 民団中央本部・民団東京本部**
20 「国際世論を無視し、ミサイル発射の北朝鮮の暴挙を許さず」
- 日韓女性親善協会30年の歩み(6)**
22 西高辻典子・福岡支部会長インタビュー(上)
- 宋一国来日**
28 「風の国」スペシャル上映会 & 韓流ファン感謝祭
- 特別寄稿 <鄭煥麒>**
30 健康と寄付金
コリヤナギ
- 民団大阪本部・青年会大阪本部**
33 09年度「韓国語講座」「コリアマダン」開講式
- 特別寄稿 <姜健榮>**
34 信州の蓮池寺鐘(2)
- 論壇**
36 「人工衛星の発射」
(鄭煥麒・愛知韓国学園名誉理事長)
「北朝鮮の米国女性記者の身柄拘束は『計画的な拉致工作』である」
- 38 韓国の社説
- 連載 <鄭煥麒>**
40 在日を生きる[増補版](28)
- 韓国文化院**
45 韓・日アニメ監督によるトークショーと交流会
- BOOK**
46 脱北者～命懸けの脱出と今を追う～
近代朝鮮の絵画 ～日・韓・欧米の画家による～
- たえこ劇場(78) <まつだたえこ>**
48 科学的ダイエット
- 在日の詩(87) <曹奎通>**
49 「かえりみる渡日」
- 特別寄稿 <姜健榮>**
50 中国の文豪・郭沫若と朝鮮問題
～金剛山小説「牧羊哀話」～
- 民団大阪本部・青年会大阪本部**
54 08年度「韓国語講座」「コリアマダン」修了式
- K・T gallery 招待席**
56 禅画の最高境地にある梵舟僧侶
- 韓国文化院ミニコンサート**
60 韓国の歌・日本の歌 「春の風に乗って」
- 日韓トンネル推進福岡大会**
61 許文道・元統一部長官が講演
- 韓国文化院**
62 韓国のお菓子、韓菓試食会
- KT美術館**
64 秀榮作 「花車」

※二つの部屋は休みました

夢の国際プロジェクト 「日韓トンネル」推進福岡大会

4月12日
福岡県国際会議場



講演する許文道・元統一部長官



ブルネイ王国初代首相・ベンギラン殿下



日韓トンネル推進福岡大会の主催者の皆さん

四月十二日午後、福岡県国際会議場に五百名を超える地元議員、各界有識者、民間関係者、一般市民が集い、日韓を結ぶ夢の海底トンネルの推進を図ろう、との声をあげた。

日韓トンネルプロジェクトは、一九八一年に開催された国際科学者会議で、アジア大陸からヨーロッパ、そして、アメリカ大陸まで世界を一周する国際ハイウェイ構想の一環として提

唱された。

日韓トンネルの出発予定地の佐賀県唐津では、調査斜坑が掘られ、予定ルートへの地質調査等も行われている。ルートとしては壱岐、対馬を通って、韓国の巨済島、または釜山へと抜けるコースが考えられている。

日韓両国の大統領・総理の会談では、幾度か話題に出ている。全斗煥大統領の政権時代に統一部長官を務めた許文道氏が、『日韓

トンネル建設は、世界平和への道』と題し、講演を行った。許元長官は、日韓トンネルの実現に向けて何が最も課題となっているかについて、流暢な日本語で、最大の問題は、トンネルを掘る技術の問題とい

うよりも、日韓両国の国民の感情が、お互いの対立的な感情を解いていく「こころのトンネル」を掘ることこそが重要だ、と語った。

かつて東京大学に学び、朝鮮日報東京特派員の経験もある元長官の、日本の歴史や文化の話題を交えてのわかりやすい話に、多くの参加者がうなずいていた。許元長官は、「釜山の市長が日韓トンネルのことを話すと、インターネットに『売国奴』というような書き込みがなされたこともあった。いまだに韓国の中に根付いている日本に対する感情問題を乗り越えていくのがこのプロジェクトだ」と語った。

ヨーロッパにおいては、イギリスとフランスの間のドーバー海峡に英仏間トンネルが完成している。日韓トンネルの完成が、東アジア地域の未来に大きな可能性をもたらし、やがては韓半島の平和的統一の礎となることも期待される。

海外特別ゲストとして招かれた、ブルネイ王国初代首相のベンギラン殿下は「日本と韓国が世界の見本となつてトンネルを完成し、平和のモデルとなつてください。夢は実現します」と激励の言葉を述べた。